



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# IT食農だより

発行元：豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

住所：〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL:0532-44-6655 FAX:0532-81-5108 E-mail:manager@recab.tut.ac.jp

2019年11月15日

No. 70

## 東海地域の6次産業化推進人材育成第8期生開講式



東海地域の6次産業化推進人材育成第8期生  
開講式集合写真(令和元年10月5日)

令和元年10月5日(土)に東海地域の6次産業化推進人材育成第8期生の開講式が行われました。第8期生は16名で、開講式では浴俊彦先端農業・バイオリサーチセンター長とプロジェクトリーダーである山内高弘同センター特任准教授の挨拶が行われ、開講式後のオリエンテーションではガイダンスとプロジェクト概要説明、受講生の自己紹介の後、本プログラムへの受講動機や学びたい事、現在取り組んでいる事などが紹介されました。これから4ヶ月に及

ぶプログラム期間中、16名が共に学び合い充実した時間となることを期待します。  
(文責：高木咲子)

## 最先端植物工場マネージャー 7期生 台湾視察研修

10月30日(水)から11月2日(土)まで、植物工場マネージャー育成プログラム7期生が、海外先端施設研修として、台湾の植物工場や先端施設園芸及び農業生産状況を視察しました。当日は、植マネ7期6名、土地利用3期1名、支援企業関係者3名と当センター職員、総勢12名が参加して研修を行いました。また、研修期間中は、すべて通訳として(一社)イノプレックスの黄桂蘭さんに案内していただきました。

視察先は、1日目、①ソリッドライト社(LEDメーカー)、完全人工光植物工場システム販売)、2日目、②行政院農業委員会・農業試験所(日本の農林水産省にあたる機関が運営する試験所、キノコ栽培・トマト栽培・種子貯蔵事業を見学)、③興農股份有限公司(興農芳蘭園處(胡蝶蘭の苗及び切り花栽培、生産面積1,500㎡、切り花栽培面積10,000㎡)、④興農股份有限公司(玉美研究公司(ベビーリーフ、大玉トマト栽培、ベビーリーフ栽培面積9ha)、3日目、⑤遠東科技大學(ミズミズの農業利用、アクアポニクス・魚の養殖と排泄水で野菜を育てる農法、植物成分抽出研究等)、⑥世界蔬菜中心(World Vegetable Center:アジア、アフリカを中心とする野菜の育種及び栽培方法の研究、種子貯蔵)、⑦行政院農業



興農芳蘭園處の  
コチョウランの苗生産状況  
(上)

ソリッドライト社  
藻によるアスタキサンチンの  
製造実験  
(下)



委員会 台南農業改良場(アクアポニクス、マンゴー・文旦の栽培圃場)、4日目が⑧台北の農産物販売状況を視察しました。  
台湾における様々な先端植物工場や施設園芸の栽培施設を見学し、各視察場所では、多くの質問が熱心になされると共に、日本との栽培環境及び農業支援政策の違いや、地球温暖化傾向が続く中での対応技術などについても知識を深めることができました。  
(文責：加藤元志)

## 植物工場マネージャー7期生、IT食農先導士(土地利用型)3期生第5回先端施設研修

10月16日(土)に植物工場マネージャー7期生7名とIT食農先導士(土地利用型)3期生6名が参加して、第5回先端施設研修・先端IT

農業研修が実施されました。今回の視察先は、次世代施設園芸愛知県拠点「イノチオファーム豊橋」(ミニトマト栽培植物工場)、柴田農園



イノチオファーム豊橋のミニトマト栽培の  
出荷調整機視察風景

(創出農業機械、圃場見学・キャベツ、トウモロコシ)、プロファームTキューブ)天窓なし、強制換気、硬質フィルムモデルハウス、ミニトマト栽培20a)でした。イノチオファーム豊橋では、下水処理温水

(約30℃)を利用し、暖房コストを10%カットし、また夏越し栽培を送風により天窓より熱風を排出して実現している現場等のお話を聞くことができました。受講生の方々は、可能な時間いっぱい、熱心に質問や意見交換を行っていました。(文責：山内高弘)

### 季節の花 皇帝ダリア

皇帝ダリア(学名:Dahlia imperialis、D・インペリアリス)は、メキシコから中米にかけて原産のキク科ダリア属の多年草です。このうち木質化する3種がツリーダリアと呼ばれています。皇帝ダリアは、そのなかでも特に茎が太くなり草丈が高くなる性質があります。

皇帝ダリアは、日が短くならないと花芽ができないので、開花期が遅く、11月下旬頃から咲き出します。近くに電灯があると日が長いと感じ、花芽をつけないので注意が必要です。良く成長すると5〜6mにも達します。大きく育て、雄大な姿を楽しむには庭植えが向きますが、8号(直径24cm)以上の鉢に小苗を植えれば、小さくても花を咲かせることができます。品種は少なく、薄紫色の一重の花を咲かせるものは、野生種だと考えられています。庭植えのものには露地で越冬しますが、鉢植えは凍らせないように管理しま

しょう。皇帝ダリアは日当たり良く、水の良い場所に植えましょう。鉢植えのものには土の表面が乾いたら鉢底から流れ出てくるくらいたっぷり水をやりをします。また、庭植えのものには、雨水さえあれば特に水やりの必要ありません。夏など、乾燥が続く場合には、たっぷり水やりを行います。肥料は、生育期間中の5月〜10月に2ヶ月に1回ほど緩効性化成肥料を株元に施します。なお、かかりやすい病気は特にありませんが、害虫はヨトウムシやアブラムシが生育期間中に発生しますので、注意して防除を行いましよう。(文責：山内高弘)



皇帝ダリア

### 旬の食べ物 フェイジョア(フィジョア)

学名: *Acca sellowiana* (O.Berg) Bur-

ret

英名: Feijoa

フェイジョアは中南米原産のグアバと同じフトモモ科の常緑果樹で

す。果物として食用に栽培される他、塩害に強く強剪定も可能なため、庭木や生垣用にも栽培されます。フェイジョアは熱帯果樹にしては耐寒性があり、樹自体はマイナス7℃まで耐えられます。一方、成熟期の果実はマイナス5℃以下の低温にあうと果実内部が褐変し、品質が低下してしまいます。フェイジョアの果実は樹上で成熟し、自然落下しますが、落下直後の果実は硬くてあまりおいしくありません。生食するときは、キウイなどと同様に収穫後に追熟させます。完熟果はリンゴ、パイナップルにバナナを混ぜたような風味があり、甘酸っぱい味がします。果実を切ると、梨にもある石細胞が多く含まれる果肉の部分と中央にはゼリー状の柔らかい部分があり、その断面は花のように見えます。フェイジョアの果実は10月下旬から11月下旬にかけて収穫され、10日から2週間程度追熟させると食べ頃を迎えます。おいしく食べられる旬の時期は11月から12月中旬となります。(文責：熊崎 忠)



フェイジョア